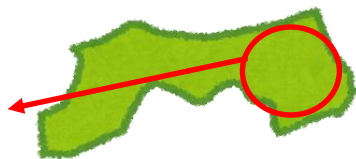


取組の概要

- 計画作成主体：鳥取市農業再生協議会他3協議会
 対象品目：野菜（アスパラガス）
 （産地面積10.70ha）
 主な取組主体：鳥取いなば農業協同組合
 成果目標：販売額の10%以上の増加
 基準（H29年度）37,559千円
 目標（R4年度）48,500千円
 導入施設等：生産支援事業
 （パイプ、被覆資材費等）

鳥取県鳥取市、岩美町、
八頭町、智頭町



ポイント

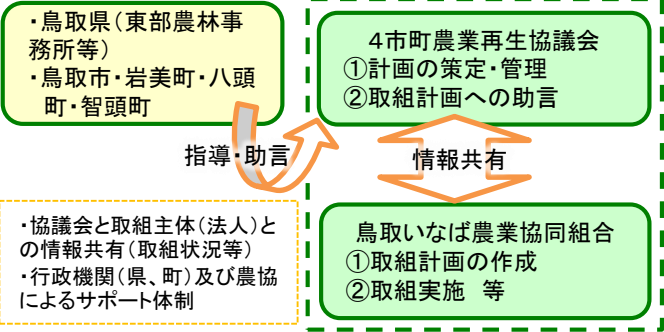
【取組の主題(テーマ)または課題】

鳥取県東部地区の農業は、水稲中心に営まれてきたが、近年の米価の低迷により水稲にアスパラガス、白ネギ、ブロッコリー等の園芸作物を加えた「複合型の農業経営」に取り組む農家が増えている。特に、アスパラガスの収穫作業は女性や高齢者でも行いやすく、収益性も期待できることから重点的に推進することとして、「JA鳥取いなば アスパラガス振興プラン(H28.2月)」を策定し、産地の課題や対応策を明確化した。今後、産地パワーアップ事業等を活用して「低コスト簡易雨よけハウス」等施設導入を進め、単収をあげて収量アップを目指し地域全体の販売額を増加させ、産地形成への第一ステップとする。

【産地の体質強化に向けた方策】アスパラガス産地の形成の推進

- ①低コスト簡易雨よけハウスの導入及び生産資材導入による収量向上・長期安定生産への取組。
 - ②高品質・安定供給による販売力強化への取組。
- 以上を推進することにより、販売額10%以上の増加を実現する。

推進体制



期待される事業効果

【事業実施による直接効果】

- ・簡易雨よけハウスの導入が進むことで早期出荷が可能となり、作期の拡大に伴う収量増

【事業実施による間接効果】

- ・低コスト簡易雨よけハウスの導入及び生産資材導入による高品質・安定生産の実現により生産者の所得向上

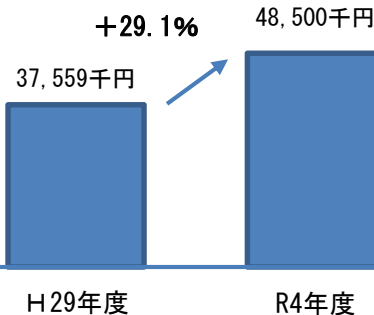


アスパラガス栽培



販売額が増加

～アスパラガスの総販売額～



地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・県:栽培技術指導、有望品種の試作・評価、産地化への取組みに対する事業支援等
- ・市町:産地化への取組みに対する事業支援等
- ・鳥取いなば農業協同組合:産地パワーアップ事業の効率的な実現にむけて、産地との連絡調整、栽培技術指導、事業計画・事業推進